

## 駅貼りポスターがきっかけで海上自衛隊へ入隊



井坂広報官（左）と再会し、入隊式を終えた三神自衛隊員（右）

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長近藤一空尉）は10月3日（水）、海上自衛隊横須賀教育隊で行われた自衛官候補生（以下「自衛生」という。）入隊式に入隊者家族と共に参加した。三神貴大自衛生誕生のきっかけは、東急田園都市線のあざみ野駅に掲示されていた自衛官候補生募集のポスターを見て、本人が市ヶ尾募集案内所に電話連絡をくれたことだった。駅へのポスター掲示は東急電鉄のご厚意により掲示をさせていただいていたものである。

大学卒業後、社会人経験を経てきた三神自衛生は、合格を勝ち取るまでの間、担当の井坂広報官と掃海艇「えのしま」の体験航海や総合火力演習見学に参加し自衛隊への理解を深めた。今まで自衛隊と無縁な生活だったが、元来機械いじりが好きなこともあり、次第に艦艇勤務をしてみたいという気持ちが生まれたという。入隊日当日は真新しい制服に身を包み同期と共に宣誓を読み上げた。号令に従い敬礼をしたり、海上自衛隊の隊歌「海をゆく」を歌ったりと、自衛官としての道を確実に歩み始めていた。入隊式後、井坂広報官と会った際には「来て頂けて嬉しいです。式を終えてホッとしました。海上自衛隊に入隊したんだと実感が込み上げてきました」と照れ臭そうに話してくれた。家族からは「この度はお世話になりました。本当に自衛隊に入ったのですね」と感慨深げだった。

市ヶ尾募集案内所は「地域に根付いた募集広報活動が実を結んだ良い事例となった。これからも一般の方が自衛隊に興味を持ってもらえる機会を探索し、様々な面から自衛官募集をアピールしていきたい。」としている。

## 1年前に参加した体験航海を経て海上自衛隊に入隊



海上自衛官になる夢を果たした長谷川2海士とご両親（横須賀教育隊）

この秋、自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山3海佐）から一般自衛候補生として海上自衛隊に入隊した長谷川希美2海士を紹介する。

長谷川2海士は、会社員として民間企業に勤務していた平成29年10月に砕氷艦「しらせ」の体験航海に参加をした際、勤務にあたる女性自衛官の姿や装備品に触れ、艦艇勤務の魅力にとりつかれた。そして自身もいつか海上自衛官として艦艇、特に「しらせ」で勤務をしたいとの強い思いが募り、家族と相談をした結果、海上自衛隊を受験する決意が固まった平成29年12月、厚木募集案内所を訪問し、平成30年5月に行われた一般自衛候補生試験を見事に合格、9月26日に晴れて一般自衛候補生として海上自衛隊横須賀教育隊に入隊した。

長谷川2海士は、「しらせ」で勤務する女性自衛官の姿にとても強い憧れを抱きました。広報官の方の説明を聞き、自衛隊では女性が活躍する場がたくさんあることを知り、様々な可能性があることから私も自衛官になりたいと強く思うようになりました。この度、その夢を叶えることができ、とても嬉しく思います。いつか、「しらせ」に乗艦して南極に行き、南極の水を厚木募集案内所に届けに行きたいです」と目を輝かせて話してくれました。

担当した広報官は、「体験航海を通じて意識が変わり、海上自衛官になる夢を叶えた長谷川2海士を担当することができ、とても嬉しく思う。対象者にとって、自衛隊の仕事を感じることがとても重要なことだと再認識することができ、今後の募集広報業務に役立てていきたい」と語った。

厚木募集案内所は、「募集対象者に体験航海を始めとする様々な体験の場を提供して自衛隊の魅力を積極的にPRし、1人でも多くの志願者を獲得できるように募集活動に励んでいきたい」としている。

## 鹿島学園高等学校小田原キャンパス職場体験支援



体験喫食



ロープワーク体験

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、10月5日（金）陸上自衛隊駒門駐屯地において実施された鹿島学園高等学校小田原キャンパスの職場体験支援を実施した。

この職場体験は、鹿島学園高等学校小田原キャンパス1年生から3年生7名及び教諭2名の計9名が参加した。駒門駐屯地広報班に案内され、駐屯地の概要説明に始まり、国際活動教育隊による基本教練、駐屯地業務隊によるロープワーク体験、体験喫食、第1高射特科大隊による装備展示及び展示用戦車の見学を陸上自衛隊について学び理解を深めることができた。参加した9名は、終始、積極的に研修を受け熱心に体験し満足していた。

小田原地域事務所は、「今後も、学校に対する職場体験を積極的に広報し、西湘地区から少しでも多くの学校に周知してもらい、将来的に自衛官募集につなげていきたい」としている。